



守りぬく!!
日本国憲法を

子どもの
未来を見すえて、

「子どもに笑顔 若者に仕事
老後に安心を」をモットーに、
「地域の仕事人」として、
みなさんの願い実現に向けて、
精一杯、がんばることができました。
安倍政権の「戦争する国づくり」は
子どもが一番の犠牲になります。
子どもの未来に目を光らせて、
いのち輝く京都市政めざして
全力でがんばります。

京都市会議員

ほり信子

市会

ほり信子

1953年岐阜県生まれ。
日本福祉大学卒。京都市立小学校教諭、京都市教職員組合執行委員長、
京都総評女性部長、全教女性部副部長歴任。京都市会議員1期。
現在、教育福祉委員、人権擁護委員。

教え子を再び戦場に送らない



Peace



子どもに笑顔

37年間の教師生活を生かして

格差と貧困が広がる中、子どもの医療費の無
料化など子育て環境の改善や子どもたちがい
きいきと学べる教育条件の整備等を求めてき

ました。教育は無償が原則です。父母負担の
軽減、全員制の中学校給食や給食費の補助を
めざして取り組んでいます。



若者に仕事

若者の希望を広げるために

「労働三法」等、働く者の権利や義務をしっか
りと学校教育の中で学ぶこと、給付制の奨学
金を作ること、ブラック企業・ブラックバイ
トに対する相談窓口を設置すること、労働者

の長時間労働を解消すること等を求めてきま
した。若者が希望を持てる社会、安心して子
育てできる環境をめざして取り組んでいます。



老後に安心

いきいきとした老後のために

安倍政権のもとで、年金削減や介護保険制度
の改悪など、高齢者いじめの政策が横行して
います。京都市でも、「敬老乗車証制度」を
乗るたびに負担する応益負担に変えようとし

ています。長年、社会に貢献してきた高齢者
の方がいきいきと健康に過ごせるよう現行敬
老乗車証制度を守り、自治体独自の施策を求
めています。

地域の仕事人

みなさんの声をしっかりと
受けとめ要求実現



▲有栖川にかかる新宮橋の
付け替え(嵯峨・広沢学区)



▼70系統バス停の整備
(太秦・南太秦学区)



▲有栖川3号踏切の整備
(嵐山学区)



▼スーパーまつもと横の歩
道改修(常磐野学区)